

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2023年3月号)

## & アジア・新興国FXフラッシュ

2023/3/1  
りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

### ◆ 今月の相場見通し

※各マーケットコメントは2月28日(火) 9:00現在  
※休日の実績は前営業日

|                                 |                                   | 2月27日現在<br>(矢印は1月末比) | 3月の予想             |
|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------|-------------------|
| USD                             | ドル・円 (円)                          | ↗ 136.19             | ↘ 130.00 ~ 145.00 |
|                                 | 米経済への過度な楽観は後退、植田日銀は緩和継続も政策修正観測は続く |                      |                   |
| EUR                             | ユーロ・ドル (ドル)                       | ↘ 1.061              | ↗ 1.00 ~ 1.10     |
|                                 | ユーロ・円 (円)                         | ↗ 144.48             | ↗ 135.00 ~ 155.00 |
|                                 | 米経済の先行きが焦点だが、欧州も想定以上に底堅い          |                      |                   |
| GBP                             | ポンド・ドル (ドル)                       | ↘ 1.206              | ↘ 1.10 ~ 1.30     |
|                                 | ポンド・円 (円)                         | ↗ 164.30             | ↘ 150.00 ~ 175.00 |
|                                 | インフレピークアウトの兆しが見える中、BOE利上げ幅縮小が進む   |                      |                   |
| AUD<br>NZD                      | 豪ドル・円 (円)                         | ⇒ 91.80              | ↗ 85.00 ~ 100.00  |
|                                 | NZドル・円 (円)                        | ↗ 84.00              | ↗ 82.00 ~ 86.00   |
|                                 | RBNZも利上げ幅を縮小し、引き締め完了を探る           |                      |                   |
| 株式<br>相場                        | 日経平均 (円)                          | ↗ 27,424             | ↘ 25,500 ~ 28,000 |
|                                 | ドル高地合い一服すると米国株に連れ安へ               |                      |                   |
|                                 | NYダウ (ドル)                         | ↘ 32,889             | ↘ 31,000 ~ 34,500 |
| 金融引締め長期化と景気懸念で下値探る展開を予想         |                                   |                      |                   |
| 長期<br>金利                        | 日本 (%)                            | ⇒ 0.500              | ↘ 0.40 ~ 0.55     |
|                                 | 日銀新体制は緩和継続路線だが米金利上昇と円安に注意         |                      |                   |
|                                 | 米国 (%)                            | ↗ 3.914              | ↘ 3.20 ~ 4.20     |
| 経済指標の反動の反動を見込むが、上振れが続く場合は注意を要する |                                   |                      |                   |

### ◆ 今月の注目ポイント

#### 2月米経済指標は1月の反動で弱めとなるかが焦点

| テーマ  | 注目度 | 今月の注目ポイント   |
|------|-----|---|
| 景気   | ◎   | <b>【米国経済】</b> 先月公表の1月経済指標は12月寒波の反動もあり、消費や雇用を中心に強めの結果となった。一方で根強いインフレ動向は米金融引締め長期化への警戒を強めた。3月公表の2月経済指標でこうした傾向が続くかが相場を左右。メインシナリオでは、1月指標は12月の反動が強く出ており、2月指標は反動で悪化しやすいとみる。  |
| 金融政策 | ◎   | <b>【FOMC】</b> 2月に確認された強い経済指標を受け金利上振れへの警戒感も広がる。3月会合では0.25%の利上げが実施されるとみるが、今回示される委員の政策金利見通しの内容が注目される。<br><b>【日銀金融政策】</b> 植田新総裁候補の最初の発言機会となった国会所信聴取では現状の金融政策は適切としつつもYCCの副作用や物価上昇の機運について言及するバランスのとれた内容であった。今月の黒田総裁最後となる決定会合は無風通過の可能性高いが、サプライズ修正リスクへの懸念は燦る。また3月中旬以降徐々に判明する春闘の賃上げ率動向が金融政策に与える影響にも注意が必要 |

### ◆ アジア通貨見通し

|       |                 |       |                 |
|-------|-----------------|-------|-----------------|
| 人民元・円 | ↗ 18.50 ~ 21.00 | ルピー・円 | ↗ 1.60 ~ 1.70   |
| パーツ・円 | ↗ 3.85 ~ 4.05   | ウォン・円 | ↗ 10.00 ~ 10.60 |
| ルピア・円 | ↗ 0.86 ~ 0.91   |       |                 |

### ◆ 今月の重要日程

|          |                  |          |                    |
|----------|------------------|----------|--------------------|
| 1日(水) 中  | 2月PMI            | 14日(火) 米 | 2月CPI              |
| 1日(水) 米  | 2月ISM製造業         | 15日(水) 中 | 2月生産・小売・投資         |
| 3日(金) 米  | 2月ISM非製造業        | 16日(木) 欧 | ECB理事会〈結果発表〉       |
| 7日(火) 米  | パウエルFRB議長の半期議会証言 | 22日(水) 米 | FOMC〈結果発表〉         |
| 10日(金) 日 | 日銀金融政策決定会合       | 23日(木) 英 | BOE金融政策委員会〈結果・議事録〉 |
| 10日(金) 米 | 2月雇用統計           | 24日(金) 日 | 2月CPI              |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

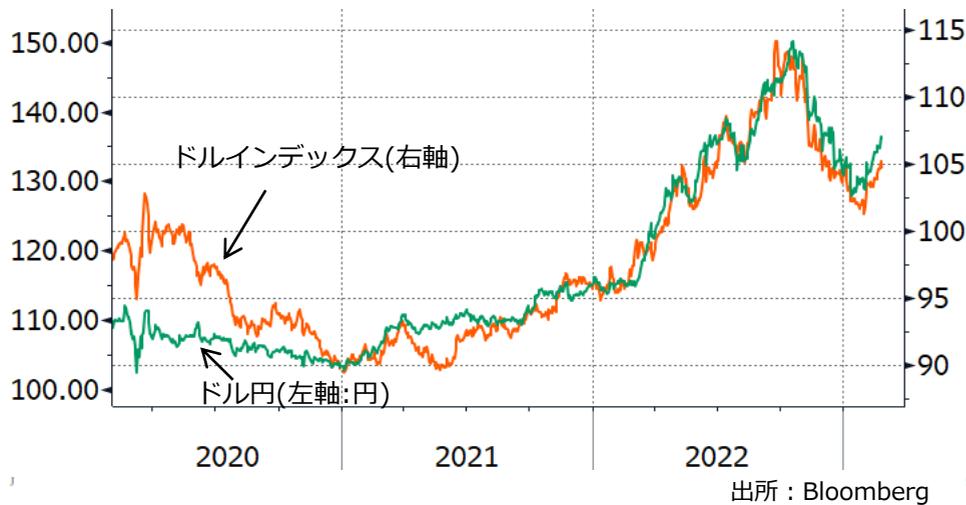
◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ (2023年3月号)

## ◆ 今月の相場見通し① 為替 (ドル・ユーロ)

### ドル 円



米ドル円 ドル円は下落 **130.00 - 145.00円**

#### 米経済への過度な楽観は後退、植田日銀は緩和継続も政策修正観測は続く

2月のドル円相場は右肩上がりに緩やかに上昇した。月初の米雇用統計を始め、米経済指標の上振れが続き、米景気減速懸念とFRBの利上げ期待の高まりという、1月とは逆の相場展開となった。背景としては年末の米国での寒波の影響や政府からの補助金等の影響により年末年始の経済指標にブレが生じ、それが季節調整により増幅された可能性が指摘できる。

1月に生じたFRBの早期利上げ停止・早期利下げ開始についてはやや早計であったと思われるが、2月相場で生じている利上げ継続・利下げ後ずれもやや過剰である可能性がある。3月に公表される2月分の経済指標を確認し、米経済に対する過度な楽観は後退しよう。

一方、国内では日銀の黒田総裁の後任として、経済学者の植田氏が指名された。国会での所信聴取では現在の金融緩和と政策の継続を表明している。当初有力と目されていた両宮氏ではなかったことで一時円高が進行する場面もあったが、植田体制であれば日銀が急速に金融引き締めへ転じる可能性は後退しており、ドル円と米金利の連動性が復活すると見ている。また、再び140円台等の円安となれば昨年12月同様に国内市場へのストレスが高まり、それ自体が日銀の政策修正を促す可能性がある。極端なドル円の上振れリスクも限定的であろう。

### ユ ー ロ



ユーロドル ユーロドルは上昇 **1.00 - 1.10ドル**  
ユーロ円 ユーロ円は上昇 **135.00 - 155.00円**

#### 米経済の先行きが焦点だが、欧州も想定以上に底堅い

2月のEUR相場は対JPYでは小幅に上昇したが、対USDでは右肩下がりでの下落となった。米国の経済指標の上振れが続き、米景気減速懸念の後退・FRBの利上げ織り込みの上昇により米金利が大きく上昇したことで、為替市場全体でUSD高になったことが影響した。

一方、2月の米国経済指標は1月の反動で下振れしやすいことに加え、ユーロ圏経済は引き続き暖冬の影響もあり底堅い状況が続いている。ECBもFRB同様に利上げの継続と利下げ時期の後ずれが生じる可能性が高まっており、一方的なEUR安は継続しないだろう。今月は前月から自律反発により、対USDで持ち直しを予想する。ただし、米国の経済指標の上振れが今月も継続する場合は、今後の米国の経済・FRBの利上げパスの上振れが意識されやすくEURの重しとなる。

また、対JPYでも、植田日銀総裁候補の緩和継続路線がひとまずは安心材料となり、底堅い動きを予想するが、日銀の今後の政策については不確実性が大きく、注意を要する。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

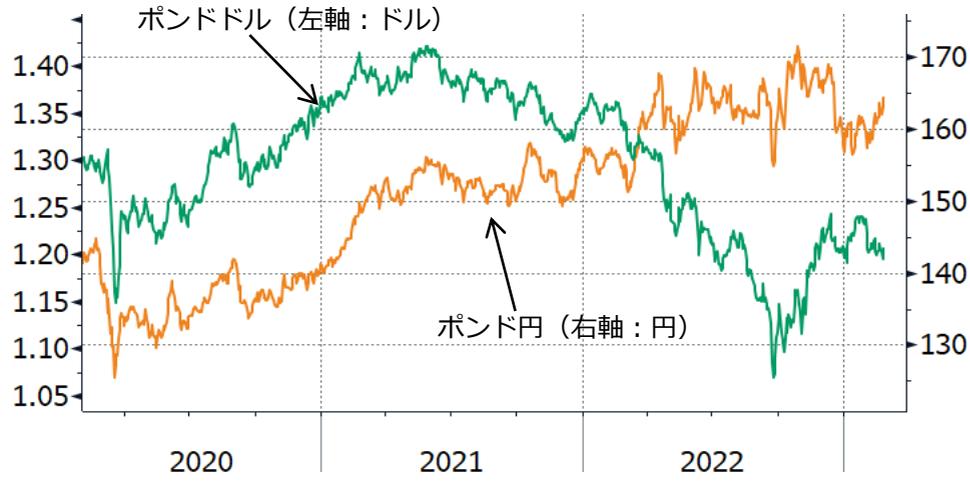
◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ (2023年3月号)

## ◆ 今月の相場見通し② 為替 (ポンド・豪ドル・NZドル)

### ポ ン ド



出所：Bloomberg

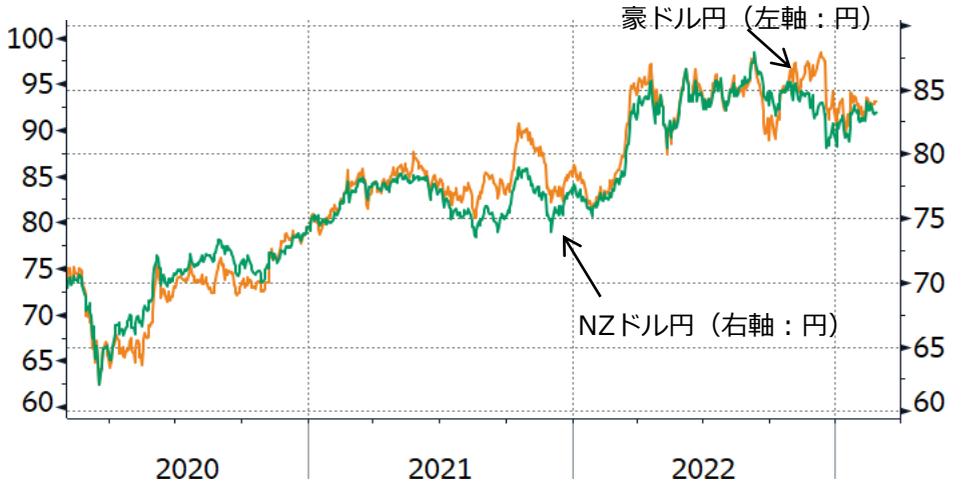
|       |          |                  |
|-------|----------|------------------|
| ポンドドル | ポンドドルは下落 | 1.10- 1.30ドル     |
| ポンド円  | ポンド円は下落  | 150.00 - 175.00円 |

**インフレ率に漸くピークアウトの兆しが見える中、BOEの利上げ幅縮小が進む**  
 2月のGBP相場は対JPYでは小幅に上昇したが、対USDでは右肩下がり而下落となった。米国の経済指標の上振れが続き、米景気減速懸念の後退・FRBの利上げ織り込みの上昇により米金利が大きく上昇したことで、為替市場全体でUSD高になったことが影響した。

2月の米国経済指標は1月の反動で下振れしやすいことから、昨年のような一方的なUSD高基調の継続も難しいだろう。一方、英国経済は減速傾向にあり、BOEの利上げ幅も縮小が予想される。今月は他の通貨同様に対ドルで自律反発による持ち直しを予想するが、上値も限定的であろう。英国のインフレ率も漸くピークアウトの兆しが見えつつあり、BOEは漸進的に利上げ幅の縮小を進めていくと見られることも、GBPの上値を抑制する。

また、植田日銀総裁候補の緩和継続路線がひとまずは安心材料となり、対JPYでも底堅い動きを予想するが、日銀の今後の政策については不確実性が大きく、注意を要する。

### 豪 ド ル ・ N Z ド ル



出所：Bloomberg

|       |          |                 |
|-------|----------|-----------------|
| 豪ドル円  | 豪ドル円は上昇  | 85.00 - 100.00円 |
| NZドル円 | NZドル円は上昇 | 82.00 - 86.00円  |

**RBNZも利上げ幅を縮小し、引き締め完了を探る**  
 2月のオセアニア通貨は対JPYではほぼ横ばいとなったが、対USDでは右肩下がり而下落となった。米国の経済指標の上振れが続き、米景気減速懸念の後退・FRBの利上げ織り込みの上昇により米金利が大きく上昇したことで、為替市場全体でUSD高になったことが影響した。

2月はRBNZの会合があり、利上げ幅の縮小が決定された(75bp→50bp)。サイクロンの被害の影響により国家非常事態宣言が発令されている影響から、ややハト派的なバイアスがかかっていた可能性もあるが、ニュージーランドのインフレ率も漸くピークの兆しが見えてきている。RBA、RBNZともに利上げの完了を探っていくと見られる。今月は他の通貨同様に対ドルで自律反発による持ち直しを予想するが、上値も限定的であろう。

また、植田日銀総裁候補の緩和継続路線がひとまずは安心材料となり、対JPYでも底堅い動きを予想するが、日銀の今後の政策については不確実性が大きく、注意を要する。

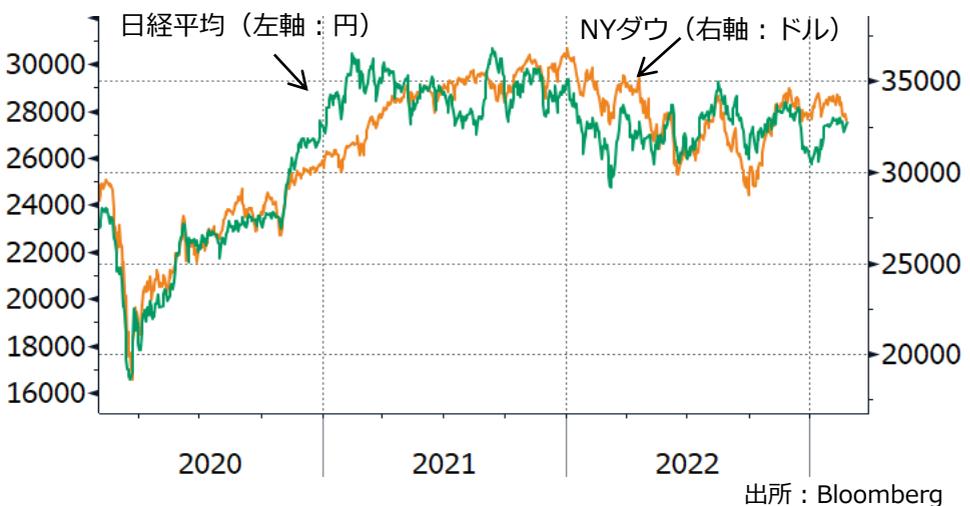
◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ (2023年3月号)

## ◆ 今月の相場見通し③ 株式、長期金利

### 株式見通し



**日経平均** 日経平均は下落 **25,500 - 28,000円**

#### ドル高地合い一服すると米国株に連れ安へ

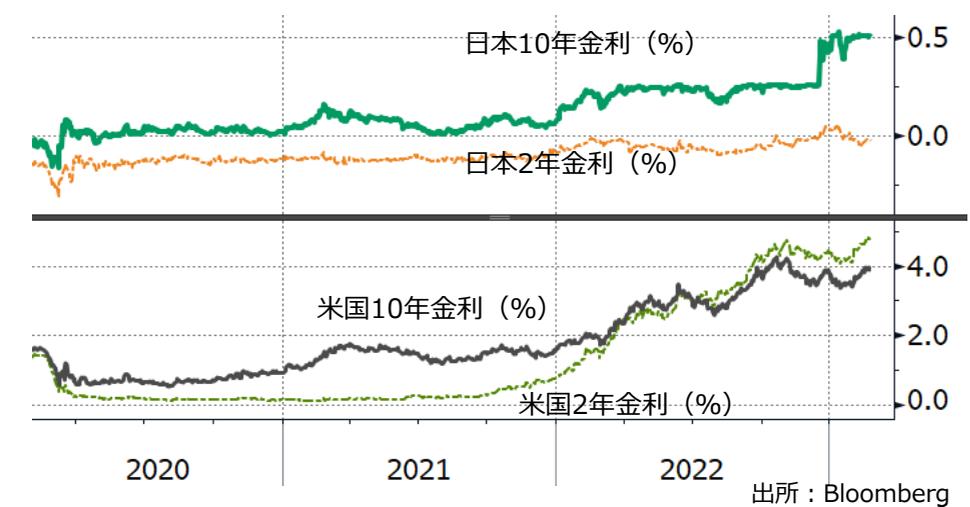
米国引締め長期化と景気懸念による米株安局面で日本株の連れ安を予想するが、同時にドル高が進んでいるなかで日本株には一旦の支えも入る。今月は米金利低下につれたドル円下落の展開を予想しており、日本株は下値を探ると予想。下げ一巡後は企業業績の底堅さへの期待等が支えとなるとみる。リスクは3/10の日銀会合、無風通過を見込むが万一政策修正が生じた場合には下落幅を広げる。

**NYダウ** ダウは下落 **31,000 - 34,500ドル**

#### 金融引締め長期化と景気懸念で下値探る展開を予想

2月に発表された1月経済指標が総じて好調な一方で、インフレ懸念が再度強まったことでFRBの金融引締め長期化懸念が生じ米国株は抑制傾向となった。今月発表される経済指標が前月ほどの強い内容でなければ景気懸念から米国株は下押し圧力が強まるとみる。ただし景気見通し下振れによりが更なる利上げ観測が後退すると逆に株高材料となり、月末にかけて底堅い展開を見込む。

### 長期金利見通し



**日本国債10年** 金利は低下 **0.40 - 0.55%**

#### 日銀新体制は緩和継続路線だが米金利上昇と円安に注意

4月に任期切れとなる黒田日銀総裁の後任は経済学者の植田氏が指名された。副総裁には現日銀理事の内田氏の昇格と、元金融庁長官の氷見野氏が就く見込み。いずれも国会の所信聴取では金融緩和の継続の必要性を説いており、日銀が急速な金融引き締めへ転じる可能性は後退した。一方、米金利上昇や円安が再び国内市場へのストレスを強める可能性があり、副作用軽減のための政策調整の可能性は残る。大幅な金利低下も見込みづらい。

**米国債10年** 金利は低下 **3.20 - 4.20%**

#### 経済指標の反動の反動を見込むが、上振れが続く場合は注意を要する

2月は月初の雇用統計から各種経済指標の上振れが続く、景気後退懸念の後退・FRBの利上げ期待の再燃という、1月と逆の相場環境となった。これは年末の寒波の影響や政府の補助金、季節調整の歪み等の影響もあり、持続的ではないと考えている。3月は反動により経済指標が下振れやすく、金利は反落する見込み。一方、3月も引き続き経済指標の上振れが続く場合、FRBの利上げ再加速も現実味を帯び、一段と金利上昇を伴う可能性もあり注意を要する。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2023年3月号)

## & アジア・新興国FXフラッシュ

### ◆ 今月の相場見通し④ 新興国通貨 (アジア)

|        |          | 2月の相場推移 |   | 3月の予想         |   | 解説            |  |
|--------|----------|---------|---|---------------|---|---------------|--|
| 中国     | 人民元/円    | 19.57   | ↗ | 19.03~19.64   | ↗ | 18.50~21.00   | 米国経済指標の上振れによるドル買い主導で2月のドル人民元は上昇した。2月の反動でドル買いは一巡しやすいとみる。3月5日からの全人代で強めの成長率目標と財政赤字が見込まれ、人民元のサポートとなるだろう。直近のPBOCの金融政策実施報告書では利下げの余地が限定的とのスタンスが示唆されている。中国金利が低下しにくい地合いにあり、人民元のポジティブ材料。 |
|        | ドル/人民元   | 6.961   | ↗ | 6.71~6.99     | ↘ | 6.70~7.05     |  |
| タイ     | バーツ/円    | 3.894   | ↘ | 3.86~3.97     | ↗ | 3.85~4.05     | 22年第四四半期のGDPやCPIの下振れでタイ中銀の利上げ打ち止め期待が高まり、2月のバーツは軟調に推移した。観光業の回復に伴うサービス収支の改善が引き続きバーツの好材料となる。実質政策金利が依然として大幅なマイナスになっている中、3月のタイ中銀会合ではインフレに対する警戒姿勢を維持すると予想。米国経済指標の鈍化でドル買いも巻き戻しが入るだろう。 |
|        | ドル/バーツ   | 35.11   | ↗ | 32.66~35.16   | ↘ | 32.5~35.5     |  |
| インドネシア | 100ルピア/円 | 0.892   | ↗ | 0.856~0.897   | ↗ | 0.86~0.91     | 2月のルピアは対ドルで減価したものの、堅調な経常収支や輸出企業の外貨収益管理強化でアジア通貨内で堅調に推移した。3月のインドネシア中銀会合では政策金利の据え置きが想定される。米国経済指標の鈍化でFRBによる金融引き締め強化懸念が後退し、金融政策格差縮小観測からドルルピアは下落しやすいとみる。                             |
|        | ドル/ルピア   | 15,270  | ↗ | 14,837~15,286 | ↘ | 15,000~15,350 |  |
| インド    | ルピー/円    | 1.644   | ↗ | 1.56~1.65     | ↗ | 1.60~1.70     | ドル高の中、2月のルピーは対ドルで下落したが、インド中銀の追加利上げ示唆や貿易赤字の縮小で下落幅は限定的であった。今後はインド中銀の利上げ継続期待がルピーの支援材料となる。インド政府の財政健全化姿勢もポジティブ材料となるだろう。ドル買いの一巡もあり、3月のドルルピーは下落しやすい地合いと想定している。                        |
|        | ドル/ルピー   | 82.85   | ↗ | 81.68~82.95   | ↘ | 81.20~83.20   |  |
| 韓国     | 100ウォン/円 | 10.292  | ↘ | 10.27~10.74   | ↗ | 10.00~10.60   | 貿易赤字の拡大やFRB金融引き締め強化警戒からウォンの下落が目立った。3月からのコロナ検査撤廃で中国観光客の増加が想定され、旅行収支の改善がポジティブ材料になりやすい。2月からの米国経済指標の上振れによるドル買いも一服すると想定。ただ、外需の鈍化が引き続きウォンの逆風となり、ドルウォンの下落幅は限られるだろう。                   |
|        | ドル/ウォン   | 1,323   | ↗ | 1,216~1,324   | ↘ | 1,250~1,350   |  |

◎注意事項  
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



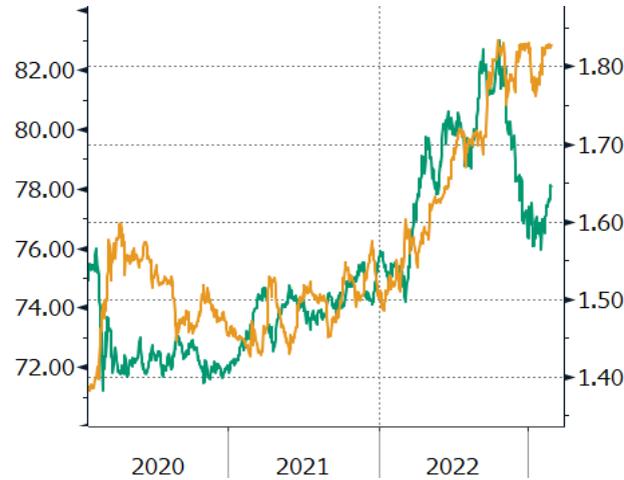
# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ (2023年3月号)

## ◆ 新興国通貨チャート

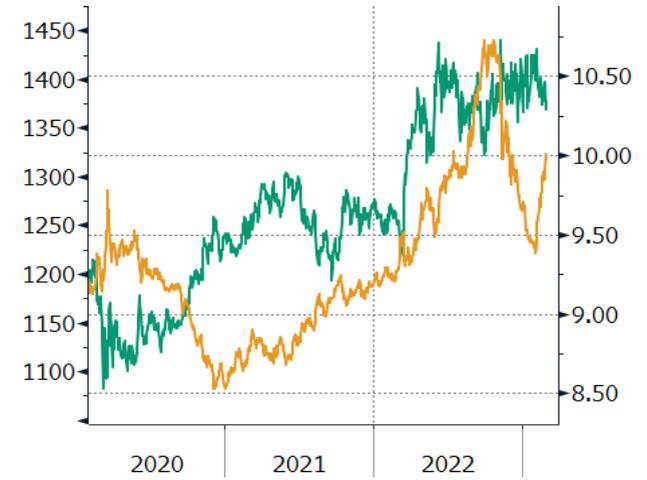
— 人民元・円 (右軸) — ドル・人民元 (左軸)



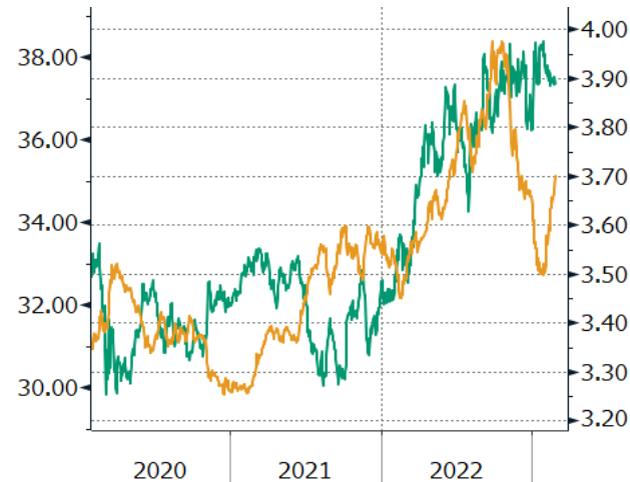
— ルピー・円 (右軸) — ドル・ルピー (左軸)



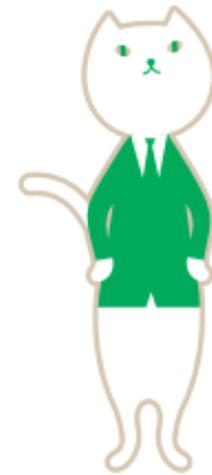
— ウォン・円 (右軸) — ドル・ウォン (左軸)



— バーツ・円 (右軸) — ドル・バーツ (左軸)



— ルピア・円 (右軸) — ドル・ルピア (左軸)



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ (2023年3月号)

## ◆ 年間為替見通し

|        |     | 2023年              |                    |                    |                    | ポイント   |
|--------|-----|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--|
|        |     | 1~3月               | 4~6月               | 7~9月               | 10~12月             |  |
| ドル円    | レンジ | <b>130~145</b>     | <b>120~140</b>     | <b>115~135</b>     | <b>110~130</b>     | FRBの利上げ停止は5月に後ずれ。その後、利下げ転換と日銀政策修正織り込みで年後半に円高基調へ。   |
|        | 期末値 | <b>135</b>         | <b>130</b>         | <b>125</b>         | <b>120</b>         |  |
| ユーロドル  | レンジ | <b>1.00~1.10</b>   | <b>0.90~1.10</b>   | <b>0.90~1.10</b>   | <b>0.90~1.10</b>   | 足元の景況感の改善が見られる。先行きの懸念は残るが、欧米ともに利上げ停止・利下げ時期が後ずれする可能性があり、対USDでは揉み合いとなる。日銀政策修正期待で対JPYでは上値が抑えられる。                  |
|        | 期末値 | <b>1.10</b>        | <b>1.05</b>        | <b>1.05</b>        | <b>1.00</b>        |  |
| ユーロ円   | レンジ | <b>135~155</b>     | <b>125~155</b>     | <b>120~150</b>     | <b>110~140</b>     | スナク首相の下で混乱した経済や市場の立て直しを図るが、インフレは高止まりしやすく、ファンダメンタルズ面での不安要素は残る。BOE内部でも見解の乖離が拡大しており、経済・金融政策の不透明感から、当面上値の重い展開を見込む。 |
|        | 期末値 | <b>149</b>         | <b>137</b>         | <b>131</b>         | <b>120</b>         |  |
| ポンドドル  | レンジ | <b>1.10~1.30</b>   | <b>1.05~1.25</b>   | <b>1.00~1.20</b>   | <b>1.00~1.20</b>   | 景気回復を見込んだ中国資産への資金流入やFRBが徐々に利上げ打ち止めに向かいドル安人民元高方向。年末に中国株高一服などから人民元高は一部巻き戻しが入る。                                   |
|        | 期末値 | <b>1.20</b>        | <b>1.15</b>        | <b>1.10</b>        | <b>1.10</b>        |  |
| ポンド円   | レンジ | <b>150~175</b>     | <b>135~165</b>     | <b>125~155</b>     | <b>120~150</b>     | 中国の景気回復の恩恵を受け底堅く推移。インフレ率もやや高止まり傾向が見える。   |
|        | 期末値 | <b>162</b>         | <b>149</b>         | <b>138</b>         | <b>132</b>         |  |
| ドル人民元  | レンジ | <b>6.70~7.05</b>   | <b>6.50~6.80</b>   | <b>6.40~6.70</b>   | <b>6.50~6.80</b>   | 旅行需要回復から当面底堅く推移。年後半は日銀政策修正織り込みや欧米景気停滞で対円下落を予想。   |
|        | 期末値 | <b>6.75</b>        | <b>6.60</b>        | <b>6.50</b>        | <b>6.60</b>        |  |
| 人民元円   | レンジ | <b>18.44~21.64</b> | <b>17.65~21.54</b> | <b>17.16~21.09</b> | <b>16.18~20.00</b> |  |
|        | 期末値 | <b>20.00</b>       | <b>19.70</b>       | <b>19.23</b>       | <b>18.18</b>       |  |
| 豪ドル円   | レンジ | <b>85~100</b>      | <b>85~105</b>      | <b>90~110</b>      | <b>95~115</b>      |  |
|        | 期末値 | <b>90</b>          | <b>94</b>          | <b>102</b>         | <b>102</b>         |  |
| タイバーツ円 | レンジ | <b>3.70~4.50</b>   | <b>3.60~4.70</b>   | <b>3.70~4.60</b>   | <b>3.50~4.40</b>   |  |
|        | 期末値 | <b>4.09</b>        | <b>4.10</b>        | <b>4.17</b>        | <b>4.00</b>        |  |

◎注意事項  
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

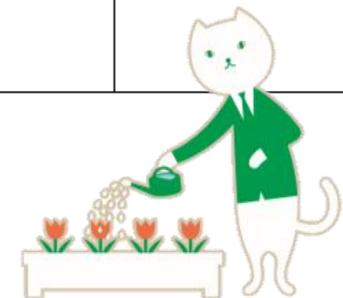


# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ (2023年3月号)

## ◆ マーケットカレンダー

|         | 日本  | 米国                                | その他                           |
|---------|---|-----------------------------------|-------------------------------|
| 3/1(水)  |   | 2月ISM製造業景況指数                      | (中) 2月PMI<br><br>(中) 2月製造業PMI |
| 3/2(木)  | 10-12月期法人企業統計調査<br>10年債入札                             |                                   |                               |
| 3/3(金)  | 1月労働力調査   | 2月ISM非製造業景況指数                     |                               |
| 3/6(月)  |   | 1月製造業受注                           |                               |
| 3/7(火)  | 1月毎月勤労統計 (速報)<br>30年債入札                               | 3年債入札                             | (豪) 準備銀行理事会                   |
| 3/8(水)  | 2月景気ウォッチャー調査  | 10年債入札<br>1月貿易収支<br>2月ADP雇用統計     |                               |
| 3/9(木)  | 10-12月期GDP (二次速報値)                                    | 30年債入札                            | (中) 2月CPI                     |
| 3/10(金) | 1月家計調査<br>2月企業物価指数<br>黒田日銀総裁定例会見<br>日銀金融政策決定会合 (結果発表) | 2月雇用統計                            |                               |
| 3/12(日) |   | (夏時間開始)                           |                               |
| 3/13(月) |   |                                   |                               |
| 3/14(火) | 5年債入札   | 2月CPI                             |                               |
| 3/15(水) | 日銀金融政策決定会合議事要旨 (1/17~18開催分)                           | 2月PPI<br>2月小売売上高<br>3月NY連銀製造業景況指数 | (中) 2月生産・小売・投資                |

|         | 日本                             | 米国                                 | その他              |
|---------|--------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 3/16(木) | 1月機械受注<br>20年債入札<br>2月貿易統計     | 2月住宅着工・許可件数<br>3月フィラデルフィア連銀製造業景況指数 | (欧) ECB定例理事会     |
| 3/17(金) |                                |                                    |                  |
| 3/20(月) |                                |                                    |                  |
| 3/21(火) | (春分の日)                         | 20年債入札<br>2月中古住宅販売                 | (独) 3月ZEW景況指数    |
| 3/22(水) |                                | FOMC (結果発表)                        |                  |
| 3/23(木) |                                | 2月新築住宅販売                           | (英) BOE金融政策委員会   |
| 3/24(金) | 2月消費者物価指数                      |                                    | (欧) 3月PMI (速報値)  |
| 3/27(月) |                                | 2年債入札                              | (独) 3月IFO企業景況感指数 |
| 3/28(火) | 40年債入札                         | 3月消費者信頼感指数<br>5年債入札                |                  |
| 3/29(水) |                                | 7年債入札                              |                  |
| 3/30(木) | 2年債入札                          | 10-12月期GDP (確定値)                   |                  |
| 3/31(金) | 2月鉱工業生産<br>2月住宅着工件数<br>2月労働力調査 | 2月個人所得・消費支出                        | (中) 3月PMI        |



◎注意事項  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ (2023年3月号)

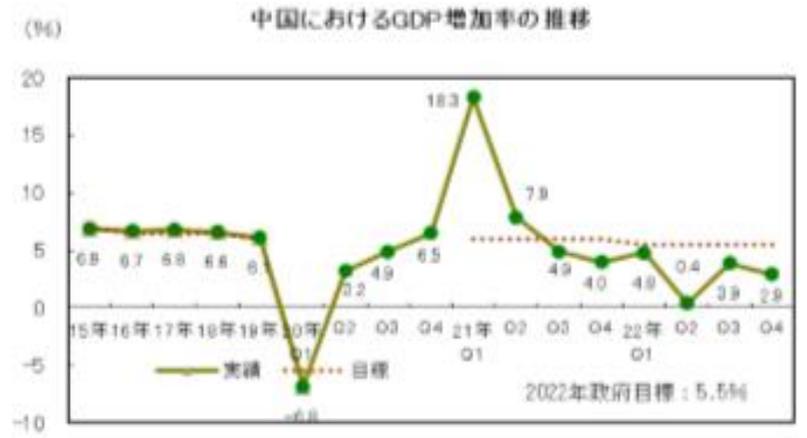
## 中国の動向-主要トピックス①

りそな銀行上海駐在員事務所

【1/28~2/3】

### ◎ 22年の研究開発費、初の3兆元超え

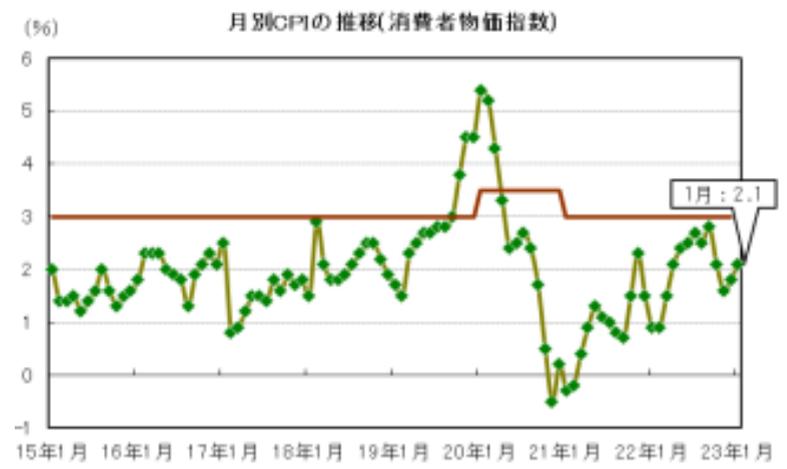
中国国家统计局は20日、中国の企業、政府系研究機関、大学が支出した2022年の研究開発(R&D)費(速報値)が前年比10.4%増の3兆870億元(約58兆6200億円)だったと発表した。7年連続で2桁の伸びとなり、初めて3兆元の大台に乗せた。研究開発の対国内総生産(GDP)比は0.12ポイント上がって2.5%となり、過去最高を記録した。基礎研究費は7.4%増の1,951億元、研究開発費に占める割合は6.32%で、4年連続で6%台を維持した。中央政府からの財政投入は前年から7%増加し、基礎研究への投資を後押しした。



【2/4~2/9】

### ◎ 1月の外貨準備高が増加、ドル安が影響

中国国家外貨管理局が7日発表した2023年1月末の外貨準備高は3兆1,844億6,200万ドル(約420兆円)となり、前月末から567億7,100万ドル(1.8%)増えた。増加は4カ月連続。米ドル安の影響で、米ドル換算での金融資産の価格が上昇。国家外貨管理局は中国経済の回復と上昇傾向が続いており、外貨準備の規模をおおむね安定させるのに有利だと指摘。国際通貨基金(IMF)のSDR(特別引き出し権)建てで見た外貨準備高は1月末時点で2兆3,615億4,000万SDRとなり、前月末から113億8,400万SDR増加した。



◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2023年3月号) & アジア・新興国FXフラッシュ

## 中国の動向-主要トピックス②

りそな銀行上海駐在員事務所

### 【2/10～2/16】

#### ◎ 1月 CPI は 2.1%上昇、2 カ月連続拡大

中国国家统计局が 10 日発表した 2023 年 1 月の消費者物価指数 (CPI) は前年同月比 2.1%上昇した。上昇率は前月から 0.3 ポイント拡大し、拡大は 2 カ月連続。食品価格は 6.2%上がり、上昇率は前月から 1.4 ポイント 拡大した。非食品価格は 1.2%上昇。CPI を構成する 8 項目のうち 7 項目が上昇。地域の CPI は都市部と農村 とともに 2.1%の上昇だった。変動の激しい食品とエネルギーを除いたコア指数は 1.0%上昇で、前月から 0.3 ポイント拡大した。

### 【2/17～2/23】

#### ◎ 1月の対中投資、14.5%増の1,276億元

中国商務省は 20 日、2023 年 1 月の投資による直接投資 (FDI) 実行額が前年同期比 14.5%増の 1,276 億 9,000 万元 (約 2 兆 5,000 億円) だったと発表した。米ドル換算では 10.0%増の 190 億 2,000 万ドル (約 2 兆 5,500 億円)。産業別の投資額の伸びは製造業向けが 40.4%増、ハイテク産業向けは 62.8%増加だった。またハイテク製造業向けが 74.5%、ハイテクサービス業向けが 59.6%それぞれ増えた。地域別では東部への投資が 13.4%増加。中部は 25.9%増、西部は 21.6%増だった。

## 主要経済指標

<月次データ>

| 項目       | 単位     | 2022/3  | 2022/4  | 2022/5  | 2022/6  | 2022/7  | 2022/8  | 2022/9  | 2022/10 | 2022/11 | 2022/12 | 2023/1  |
|----------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 実質GDP成長率 | %      | 4.8     | -       | -       | 0.4     | -       | -       | 3.9     | -       | -       | 2.9     | -       |
| 消費者物価上昇率 | %      | 1.5     | 2.1     | 2.1     | 2.5     | 2.7     | 2.5     | 2.8     | 2.1     | 1.6     | 1.8     | 2.1     |
| 都市部調査失業率 | %      | 5.8     | 6.1     | 5.9     | 5.5     | 5.4     | 5.3     | 5.5     | 5.5     | 5.7     | 5.5     | -       |
| 輸出額      | 10億ドル  | 275.0   | 272.4   | 306.4   | 328.2   | 332.3   | 315.0   | 321.7   | 298.1   | 295.2   | 306.1   | -       |
| 輸入額      | 10億ドル  | 230.5   | 222.9   | 228.1   | 231.0   | 230.1   | 234.7   | 237.6   | 213.2   | 226.1   | 228.1   | -       |
| 経常収支     | 100万ドル | 88,875  | -       | -       | 166,373 | -       | -       | 310,707 | -       | -       | 417,507 | -       |
| 外貨準備高    | 10億ドル  | 3,188.0 | 3,119.7 | 3,127.8 | 3,071.3 | 3,104.1 | 3,054.9 | 3,029.0 | 3,052.4 | 3,117.5 | 3,127.7 | 3,184.5 |
| 主要政策金利   | %      | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    |
| 対ドル為替レート | 人民元    | 6.35    | 6.44    | 6.71    | 6.70    | 6.73    | 6.80    | 7.02    | 7.21    | 7.17    | 6.98    | 6.79    |

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値 主要政策金利：1年物貸出基準金利

出所：Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2023年3月号)

## & アジア・新興国FXフラッシュ

“上海下午茶”（上海からティータイム）

りそな銀行上海駐在員事務所

### ○久しぶりの旅行

先週、家族と一緒に近所の温泉へ旅行に行きました。昨年のロックダウンから久しぶりの旅行でした。

私が選んだ温泉ホテルは遊園地などもあり、子供も遊べるところです。平日ということもあり、人がそんなに多くなかったです。

ホテルの近くには商業街があり、食事をそこで取りましたが、営業中の店は少なかったです。

数十区画の商業街ですが、実際食事ができる場所は三、四カ所でした。その他はカフェや飲み物などを売る小さい店でした。

店員さんに聞くと、三年間のコロナ防疫政策で、旅行に来る人が少なかったため赤字の連続で、やむを得ず閉める店が多かったそうです。これを聞いて、本当に残念だと思いました。周辺、道路や公共設備はきちんとそろっていて、近く山もあり、とてもきれいなところです。

将来は旅行する人が増えるとともに、景気が回復できればよいと思います。コロナが明けて、一部リベンジ的な消費はありますが、経済の回復はやはり時間がかかりますね。



### ○浮島に野菜を植える

最近面白いニュースを見ました。

私のふるさとの浙江省にある有名な湖、千島湖（杭州市淳安县）の岸辺近くや水の流入地点などのエリアでエコ浮島を作り、その上に水耕栽培技術を利用し、空心菜や芹などの水生野菜を栽培しています。

ダム水域から窒素、リンなどの元素を直接吸収することで、水に含まれる栄養素の濃度を効果的に下げ、水質を高めています。

淳安县は浙江省の唯一の特別な生態機能エリアであり、下流の数千万人の重要な飲用水源地でもあります。

この浮島に野菜を植えることにより、千島湖の水質保護ができるとともに、経済の活性化も期待でき、本当にウィンウィン効果の実現しますね。

2月中旬になると、水生野菜は収穫シーズンに入り、「湖上の菜園」が忙しい春の収穫を迎えています。

この緑いっぱいの風景を見ると、本当に気持ちいいです。一度この浮島に植えた芹や空心菜を食べてみたいですね。



◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2023年3月号) & アジア・新興国FXフラッシュ

## タイの景気動向

りそな銀行バンコック駐在員事務所

- ◆ タイ中央銀行の2022年12月の経済報告によれば、国内経済が引き続き回復の途上にあるが、輸出の需要減が生産や投資を下押ししていると発表した。民間消費指数は前年同月比2.7%上昇した。サービスが19.9%増と好調に推移したものの、耐久消費財は5.6%減少した。また、旅行者数の増加（前月比11.3%増の224万1,200人）を受け、旅行者の支出が2.6倍に増えた。民間投資指数は前年同月比2.9%減と前月の1.0%減から縮小幅が拡大した。機械・設備を中心とした資本財の輸入が12.9%減少した一方、建材の販売は横ばいだった鉱工業生産指数は同8.2%減と3カ月連続のマイナスになった。化学品、家電、繊維・衣料等の生産が減少した。
- ◆ タイ商務省によると、2022年12月の輸出額は前年同月比14.6%減の217億1,880万米ドルと、前年同月比で3カ月連続のマイナス成長だった。引き続き世界的な需要の停滞が響いた。農産物・加工品の輸出は前年同月比11.2%減、主要工業製品は同15.7%減。自動車・同部品が同17.1%減と5カ月ぶりにマイナスに転じた。他に、コンピューター・同部

品（同24.3%減）、電気製品・同部品（同13.1%減）等。一方、増加した工業製品は（同5.7%増）、半導体・トランジスタ・ダイオード（同83.7%増）、電話機・同部品（同65.6%増）等。輸出先別で、主要仕向け先は軒並み前年同月を割り込んだ。うち米国向けの輸出額は同3.9%減の39億5,700万米ドルで最大。中国向けは同20.8%減の25億5,900万米ドル、日本向けは同13.7%減の17億9,700万米ドル。欧州連合（同4.9%減）、ASEAN（同19.0%減）、オーストラリア（同18.0%減）、中南米（同9.4%減）、アフリカ（同26.7%減）はそれぞれ落ち込んだが、中東向けが増加した（同4.7%増）。12月の輸入額は前年同月比12.0%減の227億5,270万米ドルで、貿易収支は10億3,390万米ドルの赤字となった。12月の対米ドル・パーツ相場は平均で1米ドル = 34.79パーツで、前月の36.38パーツからパーツ高となった。尚、2022年通年では、輸出は前年比5.5%増の2,870億6,790万米ドル、輸入は同13.6%増の3,031億9,070万米ドル。貿易収支は161億2,280万米ドルと8年ぶりの貿易赤字となった。

## 主要経済指標

<月次データ>

| 項目       | 単位     | 2022/3 | 2022/4 | 2022/5 | 2022/6 | 2022/7 | 2022/8 | 2022/9 | 2022/10 | 2022/11 | 2022/12 | 2023/1 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|
| 実質GDP成長率 | %      | 2.2    | -      | -      | 2.5    | -      | -      | 4.6    | -       | -       | 1.4     | -      |
| 消費者物価上昇率 | %      | 5.7    | 4.7    | 7.1    | 7.7    | 7.6    | 7.9    | 6.4    | 6.0     | 5.6     | 5.9     | 5.0    |
| 失業率      | %      | 1.5    | 1.5    | 1.5    | 1.4    | 1.4    | 1.4    | 1.2    | 1.2     | 1.2     | 1.2     | -      |
| 輸出額      | 100万ドル | 28,859 | 23,515 | 25,506 | 26,508 | 23,629 | 23,633 | 24,919 | 21,772  | 22,308  | 21,719  | -      |
| 輸入額      | 100万ドル | 26,851 | 25,026 | 27,121 | 27,681 | 27,290 | 27,848 | 25,772 | 22,369  | 23,650  | 22,753  | -      |
| 経常収支     | 100万ドル | 1,102  | -2,021 | -2,926 | -3,080 | -4,045 | -3,588 | -56    | 562     | -445    | 1,102   | -      |
| 外貨準備高    | 10億ドル  | 242.4  | 228.6  | 230.0  | 222.3  | 220.0  | 215.0  | 199.4  | 201.9   | 210.7   | 216.6   | 225.5  |
| 主要政策金利   | %      | 0.50   | 0.50   | 0.50   | 0.50   | 0.50   | 0.75   | 1.00   | 1.00    | 1.25    | 1.25    | 1.50   |
| 対ドル為替レート | パーツ    | 33.3   | 33.8   | 34.4   | 35.0   | 36.4   | 35.9   | 37.0   | 37.9    | 36.4    | 34.8    | 33.2   |

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値 主要政策金利：タイ翌日物レボ金利

出所：Bloomberg

◎注意事項  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



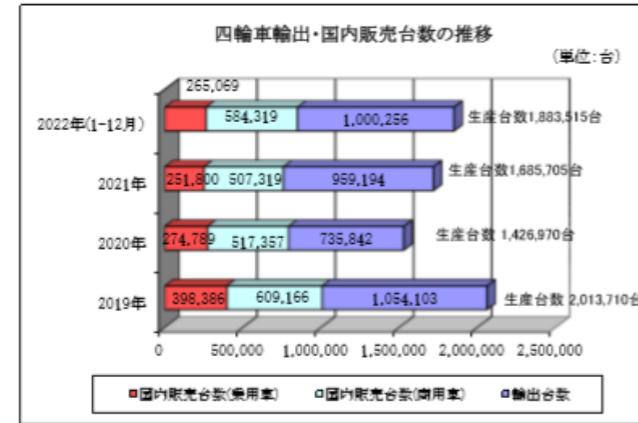
# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ (2023年3月号)

## タイにおける自動車産業の動向

りそな銀行バンコック駐在員事務所

出所:タイ工業連盟(FTI)

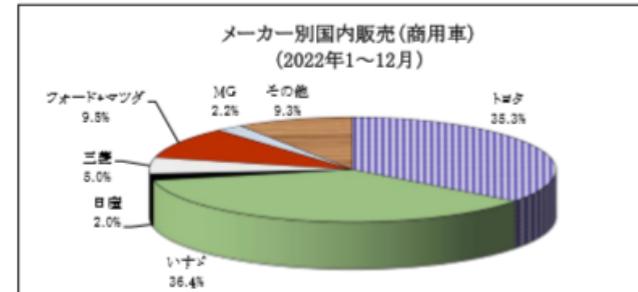
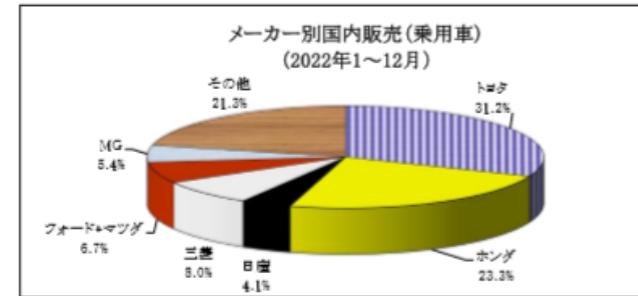
|                  |           | 2019年     | 2020年     | 2021年     | 2022年<br>(1-12月) | 前年同期比<br>(%) | 12月     |         |
|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------|--------------|---------|---------|
| <b>【台数】</b>      |           | (台)       |           |           |                  |              |         |         |
| 四輪               | 生産台数      | 乗用車       | 804,340   | 542,437   | 599,544          | 600,839      | 100.2   | 54,422  |
|                  |           | 商用車       | 1,209,370 | 884,533   | 1,085,861        | 1,282,676    | 118.1   | 104,184 |
|                  |           | 合計        | 2,013,710 | 1,426,970 | 1,685,705        | 1,883,515    | 111.7   | 158,606 |
|                  | 国内販売台数    | 乗用車       | 398,386   | 274,789   | 251,800          | 265,069      | 105.3   | 24,698  |
|                  |           | 商用車       | 609,166   | 517,357   | 507,319          | 584,319      | 115.2   | 58,101  |
|                  |           | 合計        | 1,007,552 | 792,146   | 759,119          | 849,388      | 111.9   | 82,799  |
| 輸出台数             | 1,054,103 | 735,842   | 959,194   | 1,000,256 | 104.3            | 111,808      |         |         |
| 二輪               | 生産台数      | 1,948,480 | 1,615,319 | 1,780,634 | 2,015,940        | 113.2        | 180,474 |         |
|                  | 国内販売台数    | 1,718,587 | 1,516,096 | 1,606,491 | 1,792,016        | 111.6        | 144,445 |         |
|                  | 輸出台数      | 948,839   | 727,152   | 965,967   | 1,034,940        | 107.1        | 91,960  |         |
| <b>【完成車輸出金額】</b> |           | (百万バーツ)   |           |           |                  |              |         |         |
| 四輪               |           | 545,968   | 410,912   | 561,147   | 619,348          | 110.4        | 65,994  |         |
| 二輪               |           | 69,933    | 85,802    | 75,985    | 73,729           | 97.0         | 7,114   |         |



【メーカー別国内販売台数】

出所:タイ自動車

|     |     | 2019年     | シェア<br>(%) | 2020年   | シェア<br>(%) | 2021年   | シェア<br>(%) | 2022年<br>(1-12月) | 前年同期比<br>(%) | シェア<br>(%) | 12月    |
|-----|-----|-----------|------------|---------|------------|---------|------------|------------------|--------------|------------|--------|
| トヨタ | 乗用車 | 117,708   | 29.5       | 68,152  | 24.8       | 62,403  | 24.8       | 82,738           | 132.6        | 31.2       | 8,941  |
|     | 商用車 | 214,872   | 35.2       | 176,164 | 34.1       | 177,320 | 35.0       | 206,071          | 116.2        | 35.3       | 21,258 |
|     | 合計  | 332,580   | 33.0       | 244,316 | 30.8       | 239,723 | 31.6       | 288,809          | 120.5        | 34.0       | 30,197 |
| いすゞ | 乗用車 | 0         | 0.0        | 0       | 0.0        | 0       | 0.0        | 0                | 0.0          | 0.0        | 0      |
|     | 商用車 | 168,215   | 27.6       | 181,194 | 35.0       | 184,160 | 36.3       | 212,491          | 115.4        | 36.4       | 18,216 |
|     | 合計  | 168,215   | 16.7       | 181,194 | 22.9       | 184,160 | 24.3       | 212,491          | 115.4        | 25.0       | 18,216 |
| ホンダ | 乗用車 | 96,154    | 24.1       | 77,419  | 28.2       | 76,886  | 30.5       | 61,665           | 80.2         | 23.3       | 5,788  |
|     | 商用車 | 29,879    | 4.9        | 15,622  | 3.0        | 11,806  | 2.3        | 21,177           | 179.4        | 3.6        | 2,538  |
|     | 合計  | 125,833   | 12.5       | 93,041  | 11.7       | 88,692  | 11.7       | 82,842           | 93.4         | 9.8        | 8,324  |
| 日産  | 乗用車 | 35,809    | 9.0        | 27,120  | 9.9        | 19,790  | 7.9        | 10,933           | 55.2         | 4.1        | 631    |
|     | 商用車 | 28,808    | 4.7        | 17,438  | 3.4        | 9,906   | 2.0        | 11,588           | 117.0        | 2.0        | 1,533  |
|     | 合計  | 64,414    | 6.4        | 44,558  | 5.6        | 29,696  | 3.9        | 22,521           | 75.8         | 2.7        | 2,164  |
| 三菱  | 乗用車 | 38,879    | 9.8        | 22,363  | 8.1        | 18,456  | 7.3        | 21,187           | 114.8        | 8.0        | 1,824  |
|     | 商用車 | 49,368    | 8.1        | 35,046  | 6.8        | 28,732  | 5.7        | 29,228           | 101.7        | 5.0        | 2,380  |
|     | 合計  | 88,244    | 8.8        | 57,409  | 7.2        | 47,188  | 6.2        | 50,385           | 106.8        | 5.9        | 4,204  |
| その他 | 乗用車 | 109,336   | 27.6       | 79,735  | 29.0       | 74,265  | 29.8       | 88,576           | 119.3        | 33.4       | 7,516  |
|     | 商用車 | 118,630   | 19.5       | 91,893  | 17.7       | 95,395  | 18.7       | 103,764          | 108.8        | 17.7       | 12,178 |
|     | 合計  | 228,466   | 22.7       | 171,628 | 21.8       | 169,660 | 22.3       | 192,340          | 113.4        | 22.6       | 19,694 |
| 合計  | 乗用車 | 398,386   | 100.0      | 274,789 | 100.0      | 251,800 | 100.0      | 265,069          | 105.3        | 100.0      | 24,698 |
|     | 商用車 | 609,166   | 100.0      | 517,357 | 100.0      | 507,319 | 100.0      | 584,319          | 115.2        | 100.0      | 58,101 |
|     | 合計  | 1,007,552 | 100.0      | 792,146 | 100.0      | 759,119 | 100.0      | 849,388          | 111.9        | 100.0      | 82,799 |



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さま自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。